



児童文学者 杉みき子講演会

杉みき子が語る

堀口 大學

文化講演
第四弾

入場
無料

定員
60名
(先着順)

1892年(明治25年)1月8日生まれ。

父方が長岡藩の出身。慶應義塾大学中退後、十数年を外交官の父とともに海外で過ごす。

フランス文学者、詩人。芸術院会員。昭和54年文化勲章受賞。

高田南城町に住まいを移し、地元出身の作家小田嶽夫や

写真家の浜谷浩ら、著名な文化人と交流を深め、

小田嶽夫を中心として発足した上越文化懇話会の、

文芸冊子に寄稿するなど高田の文化と係わりを持つ。

と き / 令和元年10月29日(火)

開 場 / 午後1:30 開 演 / 2:00

と ころ / 町家交流施設 高田小町多目的ホール

(上越市本町6-3-4)

TEL 025-526-8103

■主催 / 高田文化協会

■後援 / 新潟日報社、株式会社上越タイムズ社、上越よみうり

■お問合せ / 高田文化協会 携帯 080-1147-7280 (河村)

TEL 025-525-2205

※このチラシは、令和元年度上越市地域活動支援事業の一環として制作しております。



杉みき子 (すぎみきこ)

新潟県高田市生まれ。

1957年「かぐまきの歌」で第7回児童文学新人賞(現・日本児童文学者協会新人賞受賞)。

「小さな雪の町の物語」(1972年、小学館文学賞)。

「小さな町の風景」(1983年、第13回赤い鳥文学賞)。

1996年に雪文化への貢献により雪だるま大賞受賞。